

令和4年度町政テーマ 「安心・充実・未来への投資」

町は、「コロナに負けない安心して暮らせるまちづくり」「町民生活を支えるインフラが充実するまちづくり」「未来を見据えた施設の長寿命化や適正配置を計画的に推進するまちづくり」という三つの重点事項を柱に、順次、さまざまな事業に取り組んでいます。



安心の子育て環境づくり

安心

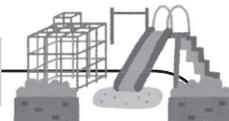
はまなす保育園に衛生的な午睡用寝具（ベッド）を整備
一人1寝具で床との間に10cmほどの隙間ができるので、ほこり吸引を軽減できます。敷物を払う際のほこりも同様に軽減できます。コロナ対策の一環です。

充実

■都市公園安全・安心対策事業

萩の里自然公園エントランス広場の整備や、各都市公園の遊具の更新に取り組み、町民生活の充実を図ります。

公園に関する町民アンケートに協力を



現在町内に設置されている公園遊具は、一番古い物で約50年以上経過しています。その都度補修をしながら使用してきましたが、老朽化や破損など安全基準を満たしていない大半の遊具が使用中止になっています。

公園遊具の更新について利用する方々の思いを反映させるため、皆さんの声を聞かせてください。特に小さなお子さまを連れて公園を利用する方の積極的な回答をお待ちしております。

右記の二次元コードを読み込むか、役場建設課、いきいき4・6、白老コミセン、図書館、出張所窓口で用紙を受け取り、提出してください。



【実施期間】 8月1日～31日

【主な質問】 「公園の利用頻度」「公園の利用目的」「公園の滞在時間」「公園の遊具」

問い合わせ先：建設課 土木事業グループ ☎82-4215

■多機能型生活館整備事業

伝統儀式・文化活動などのアイヌ文化伝承活動や、地域住民の各種活動・交流の拠点として適切な維持管理を行うため、旧白老生活館の解体および新生活館の改築に向けた実施設計を行います。

未来

「白老生活館」改築 利用は8月末まで

白老生活館は昭和37年に開館、その後昭和54年に改築してから43年が経過し、建物の耐用年数を大幅に超え、施設・設備の経年による老朽化が著しい状況にあります。このことから、下記の計画に基づき、白老生活館の改築を実施します。

■町アイヌ政策推進地域計画 令和元年9月に策定。アイヌ政策推進交付金を活用し、白老生活館の解体・改築を実施します。

■新白老生活館改築方針 アイヌ文化の保存・伝承の活動拠点、地域アイヌ文化の発信・交流拠点、また、住民生活に密着した地域交流拠点として、多くの方々に利用される多機能型生活館の整備を目指します。

■町公共施設等総合管理計画 白老生活館・白老中央生活館を施設集約・削減する考えの下、遅くとも令和8年度末までに両生活館の集約を行う方針です。

【改築スケジュール】

| 利用終了 | 解体工事 | 改築工事・完成 | 利用開始予定 |
|---------|---------|---------|--------|
| 令和4年8月末 | 令和4年9月～ | 令和5年度中 | 令和6年4月 |



問い合わせ先：政策推進課 アイヌ政策推進室 ☎82-7739